

■地主の学校@市原■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 380 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

380 目次

- 1. トピックス：8月のコロナ対応
- 2. ブログより：地主の学校@市原
- 3. 今週のお誘い+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：8月のコロナ対応

酷暑本番、本当に暑い8月が始まりました。

脱エアコン生活 3 年目ともなると、クーラー無しで寝ることには何の問題も無いのですが、さすがにここ数日は室内の寒暖計が朝まで 30 度以下にならず、「熱帯夜の定義=25 度以上」とは別次元の暑さです。

もちろん日中は、テラスに置いたビニルプールを頻繁に使い、外出はもっぱらバイク(カブ)で移動するので、エアコンの冷気はますます苦手になりつつあります。

さらに加えて、コロナ第 7 波感染拡大の勢いが衰えず、外出時のマスクも欠かせません。

ということで、8 月中の訪問業務は避け、外出先は野外中心の遊び系と、笑恵館やいづみなどの行きつけ先に絞りたいと思います。

.

一方で、オンラインでの面談やミーティングは大歓迎。

皆さんからのお誘いをお待ちしています！

.....

2. ブログより：地主の学校@市原

先日、千葉県市原市で活動する建築家集団「黒澤瓦店（くろさわかわらてん）」にお邪魔して、「プチ地主の学校」を開催した。

地主の学校の発刊から 5 か月、国づくりについて議論する機会が少しずつ増えている。

僕の議論の目的は、一人でも多くの仲間を作ること。

議論を通じて互いを知り、理解することで、共通の思いや考え方の存在に気付き、何かを共有するコミュニテ

ィに加わることが、僕の言う「仲間づくり」だ。

まずは僕を知ってもらうため、議論は言葉の定義（意味）からスタートする。

この日は「空き家」という言葉を定義して、「空き家の増加」がいったい何を意味するかについて、みんなに問いかけた。

・

言葉の意味は、人によって様々だ。

空き家を持たない人から見れば、空き家は無駄で不気味な「近所迷惑」だ。

空き家を処分できずにいる所有者なら、利用者や借主が見つかれば一安心の「有休資産」かも知れない。

さらに多数の空き家を所有する人なら、処分や建て替えを検討すべき「不良在庫」となるだろう。

また、都会と郊外、そして山間部など、地域によっても空き家の意味は全然違う。

過疎化が進むエリアでは、空き家はさらに増えているが、空室の無い人気エリアでは、新たな供給が止まらない。

5年ごとに総務省から発表される「統計上の空き家」の過半は、賃貸住宅の空室を指している一方で、空き家特措法が取り締まる「廃屋」はこの統計に含まれない。

つまり、「空き家」という言葉は一つ概念を意味しないだけでなく、その是非について論じられることもない。良質のストックとして、適量の供給が求められる「必要悪」的な存在と言えるだろう。

・

だが僕は「空き家」を、空室在庫や近所迷惑と捉えるのではなく、地域衰退の象徴と捉えている。

空き家の増加が止まらなければ、それは地域社会の滅亡を意味している。

それなのに、空き家総数の増加を抑制したり、空き家の発生を食い止める施策は見当たらない。

むしろその逆に、新規の供給や再開発は無制限に行われ、空き家の増加を促進している。

空き家バンク等、空き家の利活用促進や定住促進は、住民の取り合いをしているだけのこと。

その上、物価高と円安によって購買力が低下した国内需要を諦めて、海外投資家に売りつけているのが実情だ。

それなのに、現状を「日本売り」と揶揄するだけで、嘆くだけの傍観者ばかりが目につく。

僕が立ち向かいたいのは、こうした「衰退の促進」だと、宣言した。

・

ここで言う衰退とは、もちろん消滅へのプロセスのことで、V字回復前の一時的な衰退のことではない。

衰退に立ち向かうどころか、衰退を促進しては、消滅を免れないではないか。

滅びゆく現状に立ち向かおうとしないのは、誰もが他人事だと思っているから。

多くの人が滅びるかもしれないが、きっと自分は生き残るだろうと、誰もが思っている。

だがそうでないことを、倒産を経験した僕は知っている。

多くの地域は、そして日本は、ある意味ですでに滅びている。

僕が「国づくり」というのはそのためだ。

この国を再建するのでなく、滅びた先を描き、みんなが様々な国を小さく作り始めるべきだと思う。

・

ここから、地主の学校についての説明が始まる。

まず、地域社会が消滅しつつあることは「a 土地放置の増加、b 滞在人数の減少、c 経済価値の低下」の3つの現象として顕在化していること。

次に、それをもたらす人的要因（課題）は「a 土地管理者の減少、b 誘致受入者の減少、c 価値創出者の減少」の3つと考えられること。

したがって、それらに立ち向かう人的必要（対策）は「a 土地管理者、b 誘致受入れ者、c 価値創出者」の3つの役割であり、これらを併せ持つものを「地主」と再定義したい。

地主の学校は、こうした役割について「考え学び合う仲間たち」のこと。

そして、誰もが「主」になって自発的に動くことこそが、新しい「民主社会」のイメージだ。

そして最後に、「主とは何か」について簡単な図で説明した。

「主」とは自分一人で無く相手との関係を示す言葉で、「主従 (master and servant)」と「主客 (host and guest)」という二つの関係を示している。

先ほど示した地主の 3 つの役割のうち、「a 土地管理者は主従の主」、「b 誘致受入れ者は主客の主」だとすれば、「c 価値創出者」こそが今取り戻すべき役割に思える。

現代社会において、市民が役所の顧客や、従者（下請け）となることで主（当事者）を忘れ、地域社会の自治・運営を役所任せにしているのは、まさにこの「c 価値創出者」の役割だ。

むしろ、市民が地域を担うことが世界の常識だと問いかけると、若者たちは実感を込めて「確かにそうだ」と答えてくれた。

これで僕は、黒澤瓦店の仲間に加えてもらえた。

そして同時に、小さな国づくりが始まることを確信した。

<https://nanoni.co.jp/20220801/>

3. 今週+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外はすべて応相談

■今週の予定

(火) 08/02 なのに (自宅) 作業日

会議×：08-09 時 AR 子ども書籍 MTG (zoom)

会議×：22-23 時 M さん MTG (zoom)

(水) 08/03 なのに (自宅) 作業日

会議×：22-23 時 M さん MTG (zoom)

(木) 08/04 なのに (自宅) 作業日

会議×：22-23 時 M さん MTG (zoom)

(金) 09/05 なのに (自宅) 作業日

交流○：08-09 時 地主の学校ゼミ (zoom)

会議×：22-23 時 M さん MTG (zoom)

(土) 08/06 笑恵館 (世田谷) 作業日

視察○：10-12 時 元カジノ予定地 (青海)

交流◎：13-17 時 よろず相談会 (笑恵館)

(日) 08/07 いづみ (横浜) 作業日

会議×：10-11 時 100smile 会議 (反町)

交流◎：12-18 時 いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

(月) 08/08 なのに (各所) 休業日

出張○：OFW つま恋 11 (8/10 まで孀恋)

会議×：22-23 時 M さん MTG (zoom)

■定例の予定

- 月曜・毎週 22-23 時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)
- 火曜・第1 08-09 時 ×AR 子ども書籍 MTG (zoom)
第2,4 20-21 時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 水曜・第1 10-12 時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第2 15-16 時 ×かなこ PJT (zoom)
17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
第3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
第4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第1 08-09 時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
第1 21-22 時 ×喜多見共和国 MTG (zoom)
第2 12-14 時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
第1 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)
第4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 08/14 交流○：龍泉町歩き (台東区竜泉)
- 08/24 会議×：10-12 時 HFA 定例会 (恵比寿)
- 08/31 出張×：HFA (陸前高田)
- 11/22-24 出張×：有田集落視察 (和歌山)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）
〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1
<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）
<http://land-resource.org/>
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館
<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：
特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）
<http://www.home-for-all.org/>
一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）
<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>